

# ALP つうしん

2016年2月発行

第25号

発行者 (株)アンドウライフプラン  
東京都世田谷区北烏山 7-8-21

## 地元で57年の実績

### 電力の自由化って何だろう

今までは全国で区域割をして10社の電力会社が、発電から供給までを独占し、価格もその地域の会社が決めていました。

### 自由化になると何が変わるか。

「電気料金が安くなる」等とテレビ、新聞広告、チラシ等で宣伝合戦がすごいです。乗せられて慌てて契約をするのは「ちょっと待って」下さい。よく見ると料金はそれほど安くなかなかたり、セットにすれば安くなるとか、サービス、特典が付く代わりに期間の縛りがあったりと、現在の契約内容によっては割高になってしまうことも考えられます。いろいろと調べてから決めても遅くありません。



発電には、火力、水力、原子力、のほかに再生可能エネルギーとして、風力、太陽光、地熱、等があります。東京に住んでいる人は今までは、東電から電気を買っていましたが自由化になると、自分で選んだ事業者と契約することが出来るようになります。選択する基準は皆さんいろいろとお考えでしょうが、次世代に残せるものは何かを考えで選択したいと思います



## お宅に薬眠っていませんか？

昨年亡くなった知人の後片付を手伝ったときの事です。白いレジ袋がいくつもあるので、中身を見ると病院から貰って飲み忘れ、溜ってしまった薬でした。

飲み薬を処方されたとうりに飲めれば良いのですが、飲み忘れたことをお医者さんに言わず、通院の度に薬を貰ってくるため、家には薬が溜まっていきます、処方した薬をどのくらい飲んでいるかは、お医者さんの診察の際の判断の元になります、飲み忘れを伝えないために効果が無いと診断されてより強い薬になったり、量が多くなったりすることも考えられます。飲み忘れ等はお医者さんに言った方が良いでしょう。家にどの位薬が残っているのか診察のときに、袋ごと持っていきお医者さんにみて貰うと、薬の種類が減ったり飲み方が変わって忘れにくくなったりと、飲み残しを減らすような工夫が出来るかもしれません、何よりも無駄な薬代の節約にもなります。



薬局では、お医者さんの指示が無いと分包にしたり飲む回数を替えたりはできません。飲みやすい方法はお医者さんと良く相談して決めましょう。判らない事は遠慮せずに聞いて下さい。

# 通電火災の怖さを改めて痛感しました

先日、テレビ番組で「阪神淡路大震災」で沢山の犠牲者を出した火災の出火原因の検証結果について報じられていました。ご覧になった方もおられると思いますが、これまで原因不明とされていた出火原因が、通電によるものが多いという事がわかってきました。

倒壊した建物のがれきの中に居て救助を待っていた尊い命が火事の為に助けが間に合わず亡くなってしまふとは、家族、知人、救助をしていた人たちの口惜しさを考えると、胸が痛みます。

そのような思いをしなくて済むようにするには、震災で火を出さない備えをする事です

## 感震ブレーカー

通電火災を防ぐ効果的な方法として、**感震ブレーカー**が有ります。地震等の一定の揺れを感知してブレーカーを切る装置です。分電盤に取り付けますが、種類はいろいろあり全体を切ってしまうものと部分的に切れるもの、自分で取り付けられるもの、専門家につけてもらう物等が有り、値段も数千円～数万円と有ります。地震のときに電気を遮断し、通電火災を防ぐにはとても効果的だと言われてますが、普及率は低いようです。自分で取り付けられる製品で試してみるのも良いでしょう、不明な点はお問い合わせください



この上にボールを乗せておきます、地震などの揺れでボールが落ちて、ブレーカーが下り遮断します

価格4千円～5千円位 取付費別

**家の修理やリフォームを考えているお知り合い、ご紹介下さい  
ご成約の際には、お礼をさせていただきます。**

## ガスの震災対策

ガスのメーターには、電気のブレーカーのような機能があり、ガス漏れの疑いがあるときや震度5強以上の地震の場合などに、自動的にガスを止めます感知、これはガス漏れなどが原因の事故(地震の際は特に火事)を防ぐのが目的です。

家庭の燃料としてのガスは都市ガスとプロパンガスが使用されていますが、東京では都市ガスを使っているご家庭が多いと思います。

先日、知人宅で敷地内のガスの配管を変更する工事をしましたが、年数が経っていたこともあり、変更部分だけではなく全体のガス管を地震に強い管に替えなければいけないことになりました。

宅内工事は自己負担なので思いがけない出費になってしまいました。

ガスメーターの復帰の方法

メーターについている説明書の通りに操作してください。下の図は一例です。



# 水道設備の震災対策

何時、どんな時に起こるか分からない大地震、備えはしていますか？ 食料、水、生活用品などの備蓄はとても大切です、がもっと大切なのは地震から自分の命を守ることです。

倒壊した建物や落下物、家具等でケガをしないような対策、そして大事なものは2次災害として起きてくる火事を防ぐことです。大きな地震の後には必ずと言って良い位断水、停電になります。

断水は長引くと心身ともに負担になります、出来るだけ早い時期にライフラインを復旧できるようにするには、震災の時のダメージをどれだけ少なくできるかにかかっているそうです。

## 水道管の耐震化工事あなたのそばでも。

被災した時、まず必要になるのは「水」です。飲料水、生活用水の備蓄にも限度があります。でも、ライフラインの中で復旧が遅いのも「水道」です。電気、ガス、とは違い「水」は代替えが出来ません、阪神淡路大震災、東日本大震災の経験をふまえて古くなった水道管を地震に強い材質の管に取り替える工事が行われています、特に継手の部分が外れにくいものにしていくとの事です。普及率等は、水道局のホームページ等で見ることが出来ます。



最新の便器・便座は、節電節水性能が向上して、環境と家計にやさしくなっています。

## 温水洗浄便座は電気製品です。



長期間(10年以上)使用していると水漏れ、ガタツキ、便座のヒビや割れ、温度調節が出来ない等何らかの支障が出てきます。そのまま使用していると、ヤケド、感電・漏電、発煙・発火等の重大な事故に繋がる事もありとても危険です。買い替えをお勧めします。

我が家のトイレを節水型便器にして約半年が過ぎました。

トイレ以外は今までと同じように水道を使用していますが、平均して30%以上、6か月で1万2千円の節約になっています。

家族の人数や使い方によっても違うでしょうが、経済的なメリットがあることは確かです。

リフォーム便りを同封します。今回の特集は「かんたんリフォーム」気になっている内装や設備を短期間で施工するので、工事中の負担を少なくし工事費も抑えられます。

どんなことが出来るか、ぜひご覧ください。この冊子に載っていない工事でもご相談頂ければ、いろいろとご提案できます。

お住いの事はどんなことでもまずお電話下さい。



# 『カナメソーラールーフ』が2015年度グッドデザイン賞を受賞しました。

弊社で取り扱い、オススメしていた『カナメソーラールーフ』が2015年度グッドデザイン賞を受賞しました。



- 屋根と太陽電池を一体化することで雨漏りのリスクを軽減。
- 施工も屋根工事と一緒になので工期、コストも削減
- フルフラットなデザインは今までにない斬新ですっきりとし、どんな屋根材とも合わせやすい。
- 一体化することで従来のシステムより約1.5倍に搭載量を向上
- 3種のパネルから選べる多彩なラインナップ（単結晶・多結晶・CIS）
- パネルは既製品のメーカー保証はそのまま（25年出力保証・10年システム保証等）



製品、工事等詳細は当社にお問い合わせください

## 株式会社アンドウライフプラン

電話 03 - 3307 - 8884

FAX 03 - 3326 - 6044

住所 東京都世田谷区北烏山7-8-21

(ホームページ) [alp-andou.com](http://alp-andou.com) 又は(アンドウライフプラン)で検索して下さい。

(メールアドレス) [alp@alp-andou.com](mailto:alp@alp-andou.com) メールでのお問合せはこちらどうぞ